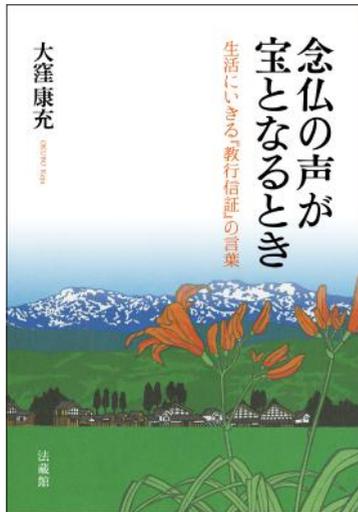


念仏の音が宝となる とき——生活にいきる『教行信証』の言葉

おおくぼ こうじゅう

大窪 康充 著 ▼四六判・並製カバ―192頁・本体 一、〇〇〇円十税



真宗大谷派の住職による法話集。お念仏とともに生きることすすめる、わかりやすいお話五〇篇を収載。
平素より門徒との会話を欠かさない著者。その飾らない人柄は素直な文章となり、読者の心の心をゆさぶります。

2020年9月刊行

【目次】

- 刊行に寄せて 三木彰円
 第1章 ひとこと法話24
 第2章 『顕浄土真実教行証文類』の言葉との対話
 第3章 目に見えない脅威との共生
 あとがき

◎好評既刊!

おおくぼ こうじゅう
 大窪 康充 著
 念仏の音が聞こえるとき
 ——正信偈『歎異抄』との対話
 ▼四六判・並製カバ―195頁・本体 一、〇〇〇円十税

◆著者略歴

一九六五年石川県白山市(旧松任市)生まれ。真宗大谷派浄土寺住職。大谷大学大学院博士後期課程満期退学。真宗大谷派擬講。金沢教区教学研究室元室長。金沢真宗学院指導主任。
 《主な論文》如来性悪説の考察(『大谷大学大学院研究紀要』通号8)、「念三千」説の一考察(『印度学仏教学研究』通号77)、「廬山慧遠の禅観」(『印度学仏教学研究』通号83)、「天台十乘観法の修行規定について」(『仏教学セミナー』通号59)、「維摩経」と中国浄土教(『金沢教区教学研究室機関誌』白道』第7号)、「法華経」より「大無量寿経」へ(『金沢教区教学研究室機関誌』白道』第9号、第10号)他。
 《主な著作》『念仏の音が聞こえるとき』『正信偈』『歎異抄』との対話(法藏館)、『浄土を生きる足音』(編著、北國新聞社出版局)

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
大窪康充著	法藏館
念仏の音が宝となるとき	本体一、〇〇〇円十税
—生活にいきる『教行信証』の言葉	
ISBN:978-4-8318-8786-3 C1015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

真宗